

九州・沖縄

景気点検

2013年春

②

沖縄・九州

佐賀県

沖縄県は主力産業の観光業が好調だ。観光客数は3月まで6カ月連続で前年実績を上回った。同県によると、2012年度の入域観光客数は11年度比7・2%増の592万人となり、2年ぶり

に増えた。

沖縄県・尖閣諸島の領土問題を巡る日中関係の悪化

を背景に、12年秋に中国人客が落ち込んだが、その後は台湾や韓国と沖縄を結ぶ

国際航空路線の増便で海外客が急増。海外客は26・9

%増の38万人だった。格安

航空会社（LCC）の就航

で国内客も6・0%増の5

4万人だった。

同県は3月の新石垣空港

（石垣市）の開港や、来年の完成する那覇空港新国際

線ターミナルを売り込み、

国内外から沖縄への航空路

線を誘致。ホテルや観光施

設も改修や外国語対応を進

め、客層拡大や滞在の長期化を促している。

個人消費は人口や世帯数

の増加に伴い、百貨店ス

トアの売上高／全店ペース

が2月まで7カ月連続で前

年超えとなるなど好調を維

持。宅地化の進展で地元ス

トアのサンエーは年内に那覇市に近い同県八重

再移転したのを受け、3月

（地元不動産仲介会社）。

日銀那覇支店の杉本芳浩

瀬町に大型店を開く。百貨

から営業時間を見延長した。

マンションや戸建支店長は「3月の沖縄短観

て住宅は人口増や消

費増税前の駆け込み

需要で販売が好調。

国土交通省による改善。景気回復の期間が長

く、業種の広がりもある。

と、新設住宅着工戸（県内景気は）13年度も明

るい見通し」としている。

（那覇支局 牛山知也）

沖縄県

観光好調、建設にも強さ

製造業活況、物流は転機

佐賀県の製造業は設備・機械メーカーなどが活況を呈している。戸上電機製作所は2012年4～12月期の連結純利益が前年同期比4・6倍に急増。東日本大震災後、停電に備えて耐震

対策を急ぐ石油精製プラン

トメーカーからの配電盤の受注が業績拡大を下支えしている。

同社は配電盤内の部品が

一目で分かるように設計。板の切削加工から仕上げま

でを1回の操作ができる小

型企业の景況感を示す景況判断

計画だ。

トメークー（鹿島市）は金属板の切削加工から仕上げま

た13年1～3月の法人企業

景気予測調査によると、企

業の景況感を示す景況判断

指数（景況感が「上昇」と答

えられた企業の割合から「下降」

強い。このため、2億円をえた企業の割合から「下降」

ぶりの高水準になつた。

同事務所は「日中関係の悪化で需要が落ち込んだ中

を迎えている。

（佐賀支局 檜上泰弘）



小型プレス機生産能力を2倍に向
上させる（鹿島市の森鉄工）



連続で前年を上回。（那覇支局 牛山知也）

国市場も改善しつつある。県内に多い自

動車部品メーカーに

も明るい兆しが出てきた。（財務課）と分析する。

一方、交通アクセント・コムとの取引拡大を

スの良い同県島嶼市

市に拠点を構える（通信販

売大手の米アマゾン・ド

ット・コムとの取引拡大を

められそうだ。

（佐賀支局 檜上泰弘）